

## 学長定例記者会見要項

日 時： 令和4年1月13日（木） 11：00～11：45  
場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

### 発表事項

1. 純米大吟醸「山形大学燦樹（きらめき）2022」完成  
～山形大学オリジナル純米大吟醸酒、2月1日より販売開始～
2. 『薬用植物標本集』のデジタル基盤の構築  
～高島町立図書館とティスコ運輸、山形大学の連携協力～
3. エリアキャンパスもがみ 山形大学舟形プロジェクト  
～大学での地産地消の可能性を探る～
4. 山形大学文化創生コースの学生による卒業研究作品展を開催  
～4年間の集大成としてバリエーション豊かな作品約80点を一挙展示～

### お知らせ

1. 令和4年度大学入学共通テストの取材について  
～大学入学共通テストの円滑な実施に御協力をお願いします～
2. 回転ガントリー照射装置の準備状況を公開します  
～次世代型重粒子線がん治療装置が完成しました～
3. 令和3年度山形大学特別イベント「文明開化の舞台 横浜を歩く」について
4. 第5回 YU-SDGs カフェを開催します  
～この山形でどうしてこの人たちは面白そうに仕事してるのか、聞いてみたくないですか！？～

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時： 令和4年2月3日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

## 学長定例記者会見（1月13日）発表者

### 1. 純米大吟醸「山形大学燦樹（きらめき）2022」完成

～山形大学オリジナル純米大吟醸酒、2月1日より販売開始～

農学部附属やまがたフィールド科学センター 技術専門職員

たなか けんいち  
田中 健一

山形大学生生活協同組合 専務理事

たかはし なおや  
高橋 直也

奥羽自慢株式会社 製造責任者

あべ りゅうや  
阿部 龍弥

### 2. 『薬用植物標本集』のデジタル基盤の構築

～高島町立図書館とティスコ運輸、山形大学の連携協力～

学術研究院 講師（歴史民俗資料学）

あべ たかひろ  
阿部 宇洋

### 3. エリアキャンパスもがみ 山形大学舟形プロジェクト

～大学での地産地消の可能性を探る～

理学部理学科1年

こばやし りょうすけ  
小林 凌介

人文社会科学部人文社会科学科1年

かとう なみ  
加藤 那実

### 4. 山形大学文化創生コースの学生による卒業研究作品展を開催

～4年間の集大成としてバリエーション豊かな作品約80点を一挙展示～

地域教育文化学部文化創生コース4年

こばやし すみれ  
小林 堇

//

おおいずみ ありさ  
大泉 有理紗

//

さとう るい  
佐藤 瑠惟

令和4年（2022年）1月13日

## 純米大吟醸「山形大学燦樹（きらめき）2022」完成 ～山形大学オリジナル純米大吟醸酒、2月1日より販売開始～

### 【本件のポイント】

- 農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門（高坂農場）で栽培された米を原料に使用した純米大吟醸酒が完成した。
- 原料米には高坂農場産出羽燦々を100%使用。
- 今年も売上の一部を学生への支援に活用する。



### 【概要】

山形大学オリジナル純米大吟醸酒が完成し、2月1日より販売を開始します。農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門（高坂農場）で栽培された米を原料に使用した山形大学オリジナル純米大吟醸酒は、2007年から山形大学生協で販売しています。2021年はコロナ禍の影響を受け、醸造を見送りましたが、今年は酒蔵を奥羽自慢株式会社へ変え、新酒を販売します。原料米の酒造好適米「出羽燦々」は、特別栽培の認証を受け、慣行より50%以下の農薬・化学肥料で栽培したものです。今年は、1,800本（約356万円）の販売を予定しており、売り上げの一部は、学生への支援として活用されます。

### 【山形大学燦樹（きらめき）2022】

醸造本数：生酒 500本(720ml)、熱処理した火入酒1,300本(720ml)の合計1,800本

価格：生酒及び火入酒共に、720ml瓶入り1本1,980円(税込)

小白川・飯田・米沢・鶴岡の各キャンパス内にある山形大学生協の店舗のほか、同組合のホームページからも通信販売にて購入することができます。 (<https://www.yamagata.u-coop.or.jp/>)

### 【原料米は附属農場産の「出羽燦々」】

原料米には、農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門（高坂農場）で栽培された酒造好適米「出羽燦々」を100%使用。山形大学燦樹（きらめき）2011より、特別栽培の認証を受け慣行より50%以下の農薬・化学肥料で栽培しています。

### 【醸造元】

奥羽自慢株式会社（山形県鶴岡市上山添神明前123） ※今年初めて醸造いただきます

### 【売り上げの一部は学生の支援に】

今年は、1,800本（約356万円）の販売が予定されており、完売した場合には、約35万円が「山形大学基金」に寄附され、学生への支援として活用されます。

お問い合わせ

山形大学生生活協同組合 小白川コンビニ店 Ciel

TEL 023-641-8662

令和4年（2021年）1月13日

## 『薬用植物標本集』のデジタル基盤の構築 ～高島町立図書館とティスコ運輸、山形大学の連携協力～

### 【本件のポイント】

- 高島町立図書館所蔵『薬用植物標本集』2冊のデジタル化。
- 本格的な機材を使用した植物標本のデジタル化は県内初。
- 植物標本は劣化や扱い時の破損の可能性が高く、一般公開が難しい現状であったが、デジタル撮影し、公開基盤を整備することによって、活用可能な資料になる。



### 【概要】

今回、高島町立図書館所蔵（館長：大浦真由美）『薬用植物標本』の一般公開に関する相談を昨年9月に受け、研究がスタートした。植物標本は、経年劣化や保存環境、使用頻度によって長期保存可能かどうか左右される資料である。当資料は、冊子形態になっているため、より閲覧時に標本に負荷がかかるものであった。そのため、図書館に所蔵されているが気軽に閲覧できる環境になかった。そこで、山形大学の阿部宇洋講師（学士課程基盤教育機構担当）と株式会社ティスコ運輸（本社：山形市、社長：菅原 茂秋）と協力し、『薬用植物標本』2冊のデジタル化を実施した。

ティスコ運輸はデジタルアーカイブ部門があり、一般文書のデジタル化機材の他に、学術的な資料のデジタル化が可能なスキャナを所有し非接触非破壊の撮影が可能な環境が整っている。

12月にデジタル化を実施し、総枚数314点の撮影を実施した。その際、資料のクリーニング、搬出入を高島町立図書館が担当、撮影をティスコ運輸が担当、監修、撮影指導を山形大学が担当した。

12月末に全行程が完了し、完成したデータは、12月24日に高島町立図書館へ寄贈された。今後、デジタル化された植物標本は、高島町立図書館で製本し一般公開される予定である。植物標本の作成時代ははっきりわからなかったものの、地域資料が安易に閲覧できる環境が期待される。

### 【背景】

地域資料は、保存はされているが公開されていない資料などが多くあり、その活用が地域の課題となっている場合がある。また保存の過程で紛失する場合もある。今回の資料は植物標本2冊のデジタル化だが、巻2、巻3のみであり、巻1は所蔵されていなかった。また、この植物標本は通常1シートで保存されるべき所を冊子にしているという形態であり、安易にデジタル化出来るものではなかった。そのため、特殊な機材や技術を必要とした。

### 【研究手法・研究成果】

山形県内の植物標本のデジタル化は、山形県立博物館ですでに実施されており、デジタルアーカイブズとして公開されている。また、植物標本は、全国各地のさまざまな学術機関でデータベース化されており、比較しやすい環境が整っている。今回の高島町の薬用植物標本は、地域の薬用植物という枠で収集されているものであり、比較研究するにあたって有用である。

（科研費番号：基盤研究費（A）19H00550 アーカイブズによる「地域力」再生と持続的社会的基盤創成研究）

### 【今後の展望】

山形県内には植物標本のほか、デジタル化すべき様々な資料が存在するが、技術や機材の問題で県外への委託が多い状況であった。その際に課題となるのが資料の搬送である。資料への負荷や負荷を減らすための費用がコストとして上乗せされるが、より近場で、県内で完結するようであれば資料への負荷も少なく搬送コスト、リスクを抑えたデジタル化が可能になる。今回の研究は県内での専門機材を使用したデジタル化の第一歩であり、地域的にはコスト、リスクを軽減しつつ、企業的には大学と連携することにより資料化の技術向上をはかることが可能になる。これらが上手に循環すれば持続したデジタル化が可能になり様々な形態的な理由での非公開資料が手に取るように見ることが出来るようになるだろう。

お問い合わせ

学術研究院 講師 阿部宇洋（歴史民俗資料学）

TEL 023-628-4868 メール taka.abe@cc.yamagata-u.ac.jp